壱岐新報
9月28日（金）
発行所 ㈱壱岐新報社
〒811-5136 長崎県壱岐市郷ノ浦町片原触 247-7
TEL/FAX 0920-47-3196
ikisinpou@oboe.ocn.ne.jp
HP ikishinpou.com
発行 毎週金曜日
購読料 1ヶ月1,000円（税・送料込み）
発行人 大野英治
編集長 武田嘉人

感動の舞台が観客魅了

古事記編纂1300年記念

「神々の宿る島・壱岐　響きあう魂たち」

「古代と現代を結ぶ島に開かれる芸術でつながる神話の祭典」、古事記編纂1300年記念イベント・創作舞台作品「神々の宿る島・壱岐　響きあう魂たち」の公演（同実行委員会主催）が22日午後、郷ノ浦町、文化ホール・大ホールで開かれ、見事な脚本、演出、演技に会場を埋めた多くの観客を魅了、ホールは感動に包まれた。

この公演は、「古事記をはじめ、日本の文化の素晴らしさを世界に発信したい。編纂1300年を記念し、古事記に登場する壱岐で何かイベントができないか」と、壱岐の島の有する魅力にひかれ、意気投合した著名なアーティストらが、亡くなった日本を代表する脚本家・作家で、古事記をもとにした創作をライフワークのように考え作品作りを展開してきた、市川森一氏の意志に共鳴し舞台づくりに参加して行われ、市川氏の妹で作家の市川愉実子さんが構成・脚本を手がけた。

壱岐神楽で幕が開いた当日は、第1部「筆が描く古事記」では、書道家の小林芙蓉さんが「天比登都柱（あめのひとつばしら）」と揮毫し勝本町、風舞組と共演。市川森一氏が贈った楽曲「神集い」を諫早のダンスチーム「百花繚乱」が披露。

第2部「『古事記神代（かみよ）ものがたり』こぉーろこぉーろ」から創作舞台作品が、語りを市川氏の妻で女優の柴田美保子さん、舞を世界的な舞踊家・浅野瑞穂さん、背景となる古事記をテーマとした映像作品を、世界的に著名な画家・マークエステル・スキャルシャフィキ氏、舞と歌など国内外で活躍するアーティスト・AYUO氏、企画・演技指導は様々な舞台など手がけた高谷信之らがそれぞれ担当、一支国座も出演して上演され、古事記のこの世の始まりから、アマテラス・ツキヨミ・スサノウの三貴子の誕生が描かれた。

語りを担当した柴田さんは「亡くなった市川が後ろについていてくれているようで、安心して楽しく真剣に演じさせていただき、間違いなく市川も喜んでいるもうような再生の感覚とホールの空間にみんなの心が広がっていくような感覚を抱きながら舞うことが出来ました」などと話した。

音楽を担当、イザナギ役を好演したAYUO氏は「残念に感じる点も多々あったが、こうした企画を行うことそれ自体は素晴らしい」、揮毫のパフォーマンスを披露した小林さんは「太鼓の演奏をバックに筆を執りましたが、壱岐は月読命様を通して縁を感じている。色々なことが月読命様から始まるのではないかと感じました」と語った。

劇のラストで、子どもたちに古事記の読み聞かせをしていた先生が、古事記は心に刻むようにゆっくりと読み、語り継いでほしい、と訴えるシーン

カーテンコールで主題歌の童謡「こぉ～ろ、こぉ～ろのきもち」を歌う出演者

観客の心をとらえた感動の舞い

のと思います。1回だけの上演では、なんだかもったいないような気がしますね」、神話を舞で見事に表現、強い感動を与えた浅野さんは「何か一つの力が解けて、その力がよみがえるという

名称を「東京壱岐雪州会」へ

東京雪州会

東京雪州会（牧山康敏会長）は10月から、壱岐出身者の東京・関東地区の親睦団体であることを明確にするため、その名称を「東京壱岐雪州会」に変更することになった。名称変更後初の総会となり、壱岐雪州会創立95周年の総会でもある総会が10月28日正午から、東京プリンスホテルで開かれる。会費は8000円で学生は無料。問い合わせなど同事務局。久原幹事長（電話044―798―2348）へ。

ひとしずく

もうだいぶその時から時が流れた▼温泉地の温泉が引かれている公衆浴場で、天井を見上げると小窓があり、その窓が開けられていて晴天の青空が見えており、その窓から顔さえ出す事ができれば、その青空の広がりを知ることができるのに―と、小窓を通して見る青空が、その時の自分の在り様に似ているような気がして、強いショックを受けたことがあった▼ちょうど今頃の時季だったか、「露天風呂はやっぱり日があるうちに入るのが一番」などと、心地好い秋風に吹かれながら、「行乞（ぎょうこつ）」、放浪の俳人などと呼ばれた種田山頭火の俳句「寝たいだけ寝たからだ湯に伸ばす」を想い出しながら、ほんとにゆっくり入っていた時のことが思い出された▼温泉はこの星・地球の、感謝すべき大いなる自然の恵みのひとつである。以前は、首や足など釣りで起きたアクシデントからくるコリや痛みをほぐそうと、島内の温泉に通っていた頃もあった。最近はほとんど出かけていないが、またその俳句の様にゆっくりと手足を伸ばして浸かり、ストレスや疲れを湯に流すのもよいのでは▼改修工事をしている湯の本の国民宿舎が11月から営業を再開する。風呂がどのように変わり、部屋もどのようにリニューアルされているのか楽しみである。早いうちに一度出かけたいと思っている▼この季節中にどこかへ旅をして、独り湯につかり、物思いに沈んでみるのもいいかも。

長崎県司法書士会壱岐支部では
10月1日の「法の日」にちなみ、
無料法律相談を実施します。
○相談内容／家や土地の登記（名義）、相続、裁判手続き、借金トラブルなど

無料相談受付事務所は下記の各司法書士事務所にて実施。
郷ノ浦町
□高岡　昭寿　☎47-1869
□山内　満　☎47-2008
□坂口　琢也　☎47-1104
勝本町
□土肥　和生　☎42-0922
石田町
□大桑　啓雅　☎44-5530
○相談時間・午前10時から午後4時まで

10月1日から5日（金）までの5日間

美術展

○場所　1階　テーマ展示室
　　3階　多目的交流室
○入場無料

絵と書 二人展

画家、マークエステル・スキャルシャフィキと、書道家、小林芙蓉による絵画と書の二人展です。
○会期　10月5日(金)～10月28日(日)

壱岐市民絵画・写真展

「壱岐の歴史的なもの」をテーマに、壱岐市民から寄せられた絵画作品・写真を展示します。
○会期　11月2日(金)～11月25日(日)

音楽祭

○場所　3階　多目的ホール
○各イベント先着150名とさせていただきます。

日韓打楽器競演

○日時　10月8日(祝) 13:00開場　13:30開演
○入場無料
○演奏　韓国民族打楽器演奏グループ「ビビムタ」
　玄海怒涛太鼓

マンドリンコンサート

日本の抒情歌と、昭和の歌姫・美空ひばり特集でお楽しみください。
○日時　11月4日(日) 13:30開場　14:00開演
○入場無料
○演奏　太宰府マンドリンクラブ

一支国浪漫コンサート2012

クラシックとオペラの親しみやすい楽曲を織り交ぜたコンサートをお届けします。
○日時　11月11日(日) 13:30開場　14:00開演
○入場　一般500円
　高校生以下300円
　＊未就学児不可
○演奏　窪田脩子（ピアノ）
　横山浩平（声楽・バリトン）ほか